

12月定例会 一般質問

12月定例会では、「投票率の向上について」と「若者を支援するしくみについて」一般質問いたしました。

投票率の向上について

投票率の向上については、昨年の9月定例会でも一般質問いたしました。選挙の投票率は60代をピークに、年代が下がるごとに低くなっていきます。今夏の参議院選挙より、選挙権が18歳以上に引き下げられることもあり、再度、若い世代、特に新たに選挙権を得る18歳や19歳の方々に選挙の意義や投票の重要性を伝える手段について質問いたしました。

回答：現状は市内の県立高等学校の生徒会選挙で、選挙で使用する投票箱などを貸し出している。

今後は、選挙啓発の街頭活動や選挙事務を高校生に体験してもらうことを検討している。また、選挙啓発の冊子を当該年齢の方々に配布することを考えている。

若者を支援するしくみについて

行政の現在の組織体制では、中学校卒業後から結婚・出産するまでの若者を専門的に支援する部署が存在しません。それゆえ、これらの年代に対する行政サービスは手薄になっていると感じます。地方創生総合戦略である「たかさご未来総合戦略」でも、若者担当部署の創設が検討されています。このような現状から、若者世代に寄り添い、世代特有の環境に合わせた支援を行える部署の創設のために、市の考えを伺いたく、質問いたしました。

回答：社会生活を営む上で困難を有する若者の支援にくわえて、若者が地域社会で活躍できる活動などを支援する新たな体制について検討している。主な取り組みとして、若者施策を所管する組織の設置や、若者会議の設置をあげている。

庁内の体制としても、若い人の意見が通りやすく、受け入れられるように考え方を広げていくことも必要であると感じる。

※一般質問は市議会ホームページにて動画配信も行われています。

お知らせ

ホームページも合わせてご覧ください。<http://shimazuharuka.com/>

また、日々の活動をブログに綴っています。

しまづはるか活動報告 <http://blog.goo.ne.jp/shimazu1987>

後援会員を募集しております。ご入会いただける方は、下記連絡先まで、ご連絡ください。読んでいただき、ありがとうございました。ご感想をお寄せいただくと嬉しく存じます。

TEL/FAX 079-447-1515 E-mail shimazu.takasago@gmail.com

しまづはるか後援会報



会報9号

発行責任者：島津明香 TEL/FAX:079-447-1515 E-mail:shimazu.takasago@gmail.com

挨拶

2016年初めての後援会報です。この度も、後援会報を手にとっていただき、ありがとうございます。今年も皆様に、市政の状況をお伝えしていくたく思います。

2015年（平成27年）12月4日より12月17日までの14日間、平成27年12月定例会が開催されました。この後援会報9号では、12月定例会の内容を中心に報告していきたく思います。12月定例会では、平成26年度決算も認定しております。決算については、次ページに掲載しております。

最後まで読んでいただけると嬉しく存じます。



高砂市議会議員 島津 明香

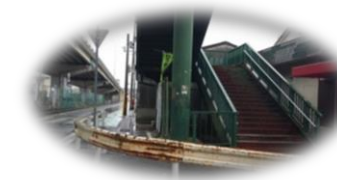
12月定例会 報告事項

JR 曾根駅の橋上化断念

12月定例会中に行われた諸報告にて、JR 曾根駅の橋上化を断念する旨が報告されました。この件については、平成27年中に結論を示すということになっていました。市民の皆様からの希望も伺っていましたが、断念という報告となってしまうことを非常に残念に感じています。

これまで検討されていた、「JR 曾根駅の橋上化」と「駅舎と県道間の跨線橋設置」についてはJRとの協議が必要であり、JRとの協議を重ねた結果、困難であるという結論に至ったという報告でした。今後は、南側から駅に渡る県道へのエレベーター設置の実現に向けて取り組んでいくとのことで、引き続き南北の通行の円滑化を図るとのことです。また、駅北の駅前整備についても行われる予定となっています。

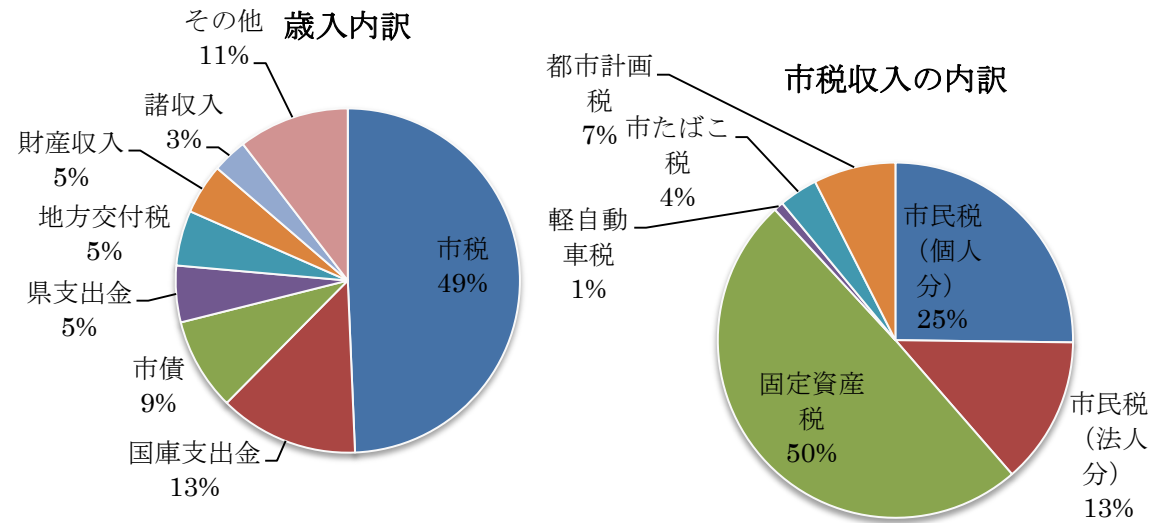
今後は、この度見直された計画に基づいた事業実施を見守り、必要な意見を伝えていきたいと思っています。



平成 26 年度決算を認定しました

一般会計 歳入

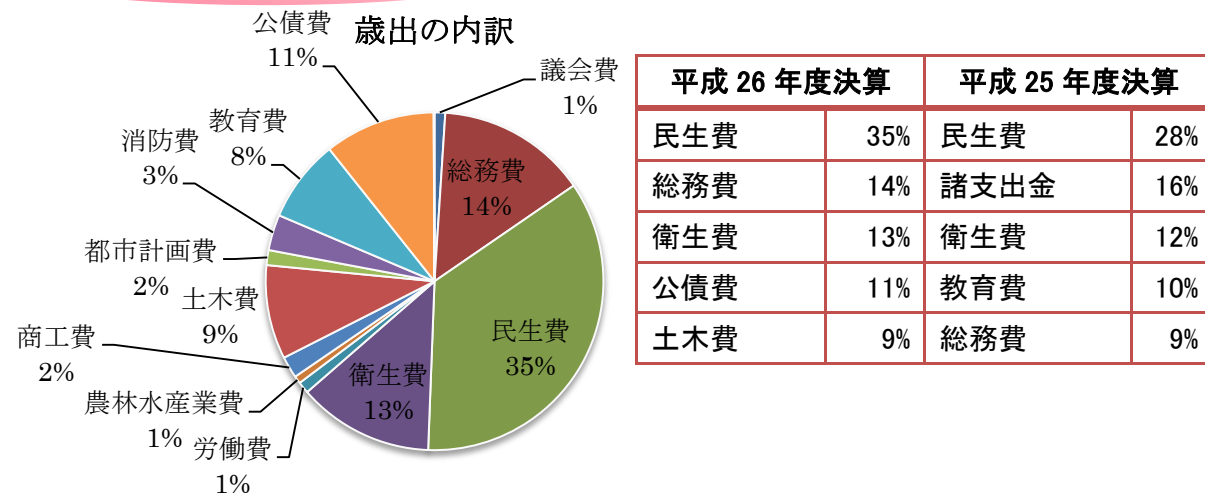
総額：36,024,879,868 円



一般会計歳入の市税収入は、法人市民税が昨年より 135.7%増となっていますが、固定資産税は 1.9%減となっています。また、第三セクター等改革推進債などで市債が昨年度より大きく減少しています。

一般会計 歳出

総額：34,745,410,724 円



一般会計歳出は、総務費が前年度と比較して割増となっています。これは、工業公園管理事業や減債基金積立事業が増加したためです。また、市制 60 周年の記念事業も総務費に含まれます。また、民生費では、ユアアイ福祉交流センターの建設費や臨時福祉給付金給付事業、児童福祉施設措置事業や子育て世帯臨時特例給付金給付事業等で前年度より増加しています。諸支出金については、主に工業公園代位弁済事業や土地開発公社補助事業での減少のため、減額となっています。

平成 26 年度主な事業

平成 26 年度の主な事業とその金額は下記のとおりです。

	事業名	金額 (円)
総務費	60 周年記念事業費	34,810,844
	新市庁建設検討事業	271,276
	ホームページリニューアル事業	5,346,000
民生費	臨時福祉給付金給付事業	191,878,236
	ユアアイ福祉交流センター建設費	487,503,640
	子育て世帯臨時特例給付金給付事業	113,967,652
	高砂児童学園整備事業	7,970,400
	福祉医療事業	56,354,285
衛生費	成人保健対策事業	78,132,324
	母子保健事業	67,377,816
	ごみ減量化再資源化対策事業	24,479,151
	広域ごみ処理施設整備事業	20,138,157
土木費	鹿島川・松村川整備事業	42,796,080
	JR 曾根駅周辺整備事業	3,264,840
都市計画費	明姫南地区まちづくり推進事業	350,000
	高砂みなとまちづくり推進事業	988,293
	沖浜平津線街路整備事業	26,129,330
	小松原地区整備事業	5,792,760
	JR 曾根駅周辺整備事業	1,656,124
消防費	高砂分署改築事業	2,246,400
教育費	小中一貫教育推進事業	6,084,063
	中学校給食事業	17,577,747
	教材備品等購入事業 (小学校)	24,156,181
	教材備品等購入事業 (中学校)	10,446,484
	小学校施設建設事業	26,812,130
	中学校施設建設事業	33,464,522
	教育センター改修事業	5,400,000

